

## 事業の背景・目的

アマミトゲネズミは奄美大島の固有種であり、国指定天然記念物及び国内希少野生動植物種にも指定されている。しかしながら、生息地の開発行為や外来生物等の影響によって絶滅のおそれが高まり現在絶滅危惧 I B類に指定されている。日本動物園水族館協会と環境省が2014年に締結した生物多様性保全の推進に関する基本協定書に基づき生息域外保全の取組を開始している。本事業は、当園においてアマミトゲネズミの生息域外保全をするため、飼育繁殖のための環境を整備し、飼育繁殖を通して科学的知見の集積を行い本種の保全に対し、動物園の立場から貢献していくことを目的とする。

## 事業の内容

### アマミトゲネズミの飼育事業

昨年に引き続き飼育環境の整備を実施。

2024年9月に行われたアマミトゲネズミ飼育管理検討会議に新規参画園館として出席。

2025年2月に宮崎市フェニックス自然動物園にて飼育研修を実施。

日本動物園水族館協会のアマミトゲネズミ繁殖計画に基づき2025年2月に

宮崎市フェニックス自然動物園と埼玉県こども動物自然公園から合計5頭を導入し、飼育を開始した。

新設した  
セカンドキャッチエリア



導入した  
アマミトゲネズミ



## 得られた成果

日本動物園水族館協会が策定したアマミトゲネズミ飼育研修マニュアルに基づき、飼育経験の豊富な宮崎市フェニックス自然動物園にて飼育研修ののち飼育を開始した。今後は繁殖にも寄与すべく、個体の様子を見ながら積極的にペアリングを行っていく。今後飼育頭数が増えた場合を考え今年度の飼育施設整備の中で飼育用コンテナとそれらを置く棚を準備したことで、当初の予定よりも繁殖した場合の飼育管理や他飼育園館からの受け入れが可能な状態を整えられた。また、既に展示を開始している園館を参考に当園でも展示に向けて準備を整え、教育普及にも力を入れていく予定である。それに伴い、本種の生息地である奄美大島を視察し、現地でのアマミトゲネズミ保全の取り組みについて実際に見聞きしたいと考えている。